

5) 環境との共生計画

(1) 基本的な考え方

自然環境の保全や創出を図ると共に、環境負荷の軽減に努め、自然と人間とが共に暮らせる環境づくりを進めます。

(2) 基本方針

自然環境の保全・創出

水源涵養や山地の荒廃化を防ぐために、既存緑地の保全に努めます。

河川の利用にあたっては、様々な生物の生息空間の保全・創出に努めます。

下水道等の推進

市街地内に公共下水道等の整備を推進します。

環境負荷の低減

ゴミの発生抑制やリサイクルの推進、太陽光発電等の利活用などにより、環境への負荷の低減を図ります。また、快適な生活環境を維持するために、環境衛生施設の維持・管理にも努めます。



(3) 整備方針

自然環境の保全・創出

区分	整備方針
緑地の保全	・水源涵養や山地の荒廃化を防ぐために、山地部の農地や林地などの既存緑地の維持に努めます。特に、市街地後背部の良好な緑地は、生活環境を維持するために、保全に努めます。
自然を重視した多様な河川整備の推進	・当町の河川（都市計画区域内）は、治水に対する整備は完了しており、今後は利用する上で、自然環境の保全やうまいのある水辺空間の創出を目指して、自然を重視した多様な河川整備を推進します。











下水道等の推進

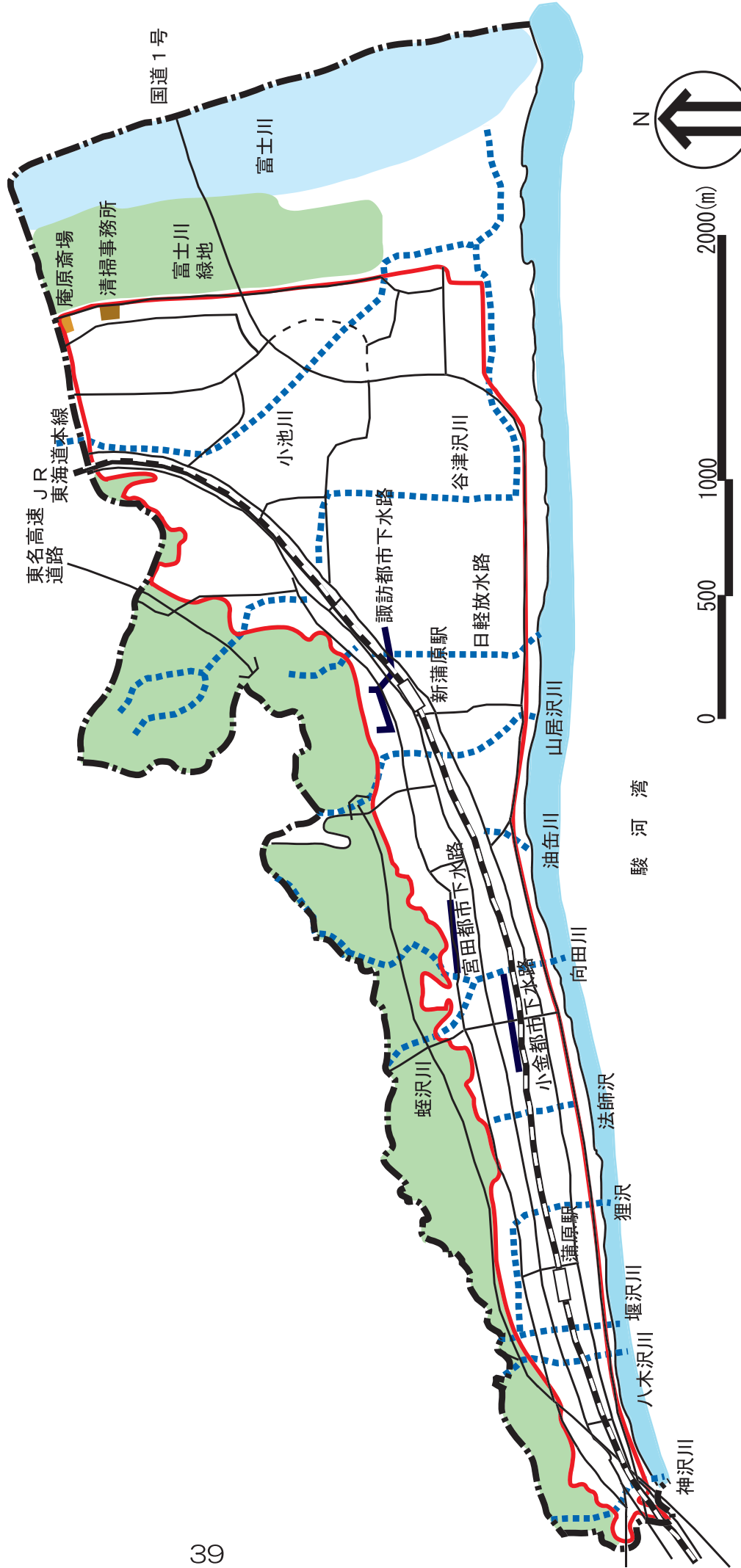
区分	整備方針
下水道等の推進	・生活排水などによる河川や海の汚濁、浸水等を防ぐために、市街地内の公共下水道や都市下水路整備を推進します。

環境負荷の低減

区分	整備方針
ゴミの発生抑制とリサイクルの推進	・資源ゴミの分別収集、廃棄物の資源化の推進、生ゴミの堆肥化等の促進と共に、廃棄物の再利用や再生品の使用を推進します。
太陽光発電等の利活用	・公共施設や公園、街路灯などの電力供給にあたり、太陽光発電等のクリーンエネルギーの活用を推進します。
環境保全に対する監視指導強化	・工場等に対し、環境保全対策に対する監視強化に努めます。
し尿処理施設の維持・管理	・公共下水道が供用及び、合併処理浄化槽が十分普及されるまで、し尿処理施設の維持・管理に努めます。
斎場の整備	・庵原地区住民が使いやすい施設とするために、庵原斎場の整備を進めます。

環境共生方針図

-  公共下水道整備検討区域
-  都市下水路
-  河川
-  清掃事務所
-  斎場
-  市街地周辺の環境緑地
-  主要道路
-  構想道路
-  鉄道
-  都市計画区域



6) 都市景観形成計画

(1) 基本的な考え方

土地利用に基づいた市街地景観の形成を図ると共に、東海道、蒲原城跡、御殿山、富士川など、当町の特色を活かした景観形成を図ります。また、市街地後背部の良好な自然環境の整備、保全も図っていきます。

なお、景観に関わるルールづくりに取り組むと共に、住民に対し景観保全、創出の啓発に努めます。

(2) 基本方針

市街地の景観形成

市街地の土地利用の状況に応じた住宅地、商業・業務地、工業地それぞれにふさわしく、全体的に調和のとれた市街地景観の形成を図ります。

蒲原町の特色を活かした景観形成

東海道をはじめとする歴史的まちなみ景観や、蒲原城跡・御殿山の自然景観、富士川及び河川敷の景観など、当町独自の特色を活かした景観形成を図ります。

自然景観の整備・保全

市街地内を流れる河川、市街地に接する農地・林地、離岸堤と砂浜など、豊かな自然景観の整備・保全を図ります。

景観形成の誘導と啓発

蒲原宿の歴史的まちなみ等を保存していくために、建造物の建て替え等における支援制度の創設に努めます。

また、優れた景観に対し広報紙等により紹介し、景観の重要性の啓発に努めます。



(3) 整備方針

市街地の景観形成

区分	整備方針
住宅地の景観形成	・低層の住宅地景観の維持に努め、生け垣や庭の緑化を促進します。
商業・業務地等の景観形成	・JR 新蒲原駅及び蒲原駅周辺は、広域又は地域商業・業務地としての機能と町の東西玄関口にふさわしい景観形成を図ります。
工業地の景観形成	・工場緑化を促進し、周辺の住宅地と調和した工業地景観の形成を図ります。

蒲原町の特色を活かした景観形成

区分	整備方針
歴史的まちなみ等の景観整備	・蒲原宿、堀川沿い及び西部地域の山手線沿いに立地しているまちなみや緑地の保全に努めると共に、歴史的雰囲気演出する看板の設置や道路修景を行い、歴史的まちなみ等の景観整備を図ります。
蒲原城跡及び御殿山景観整備・保全	・蒲原城跡は、散策道の整備や案内板・誘導板の設置を図ります。また、隣接する御殿山は桜の名所として、自然景観の保全に努め、蒲原城跡と連坦した自然景観づくりを目指します。
富士川及び河川敷の景観保全	・近景には、富士川の流水や動植物の生息地、緑に囲まれたスポーツ・レクリエーションの場や桜えび干し場が、また、中・遠景には、富士山、駿河湾などが眺望でき、当町の優れた景観エリアとなっているため、これら景観の永続的な保全に努めます。















自然景観の整備・保全

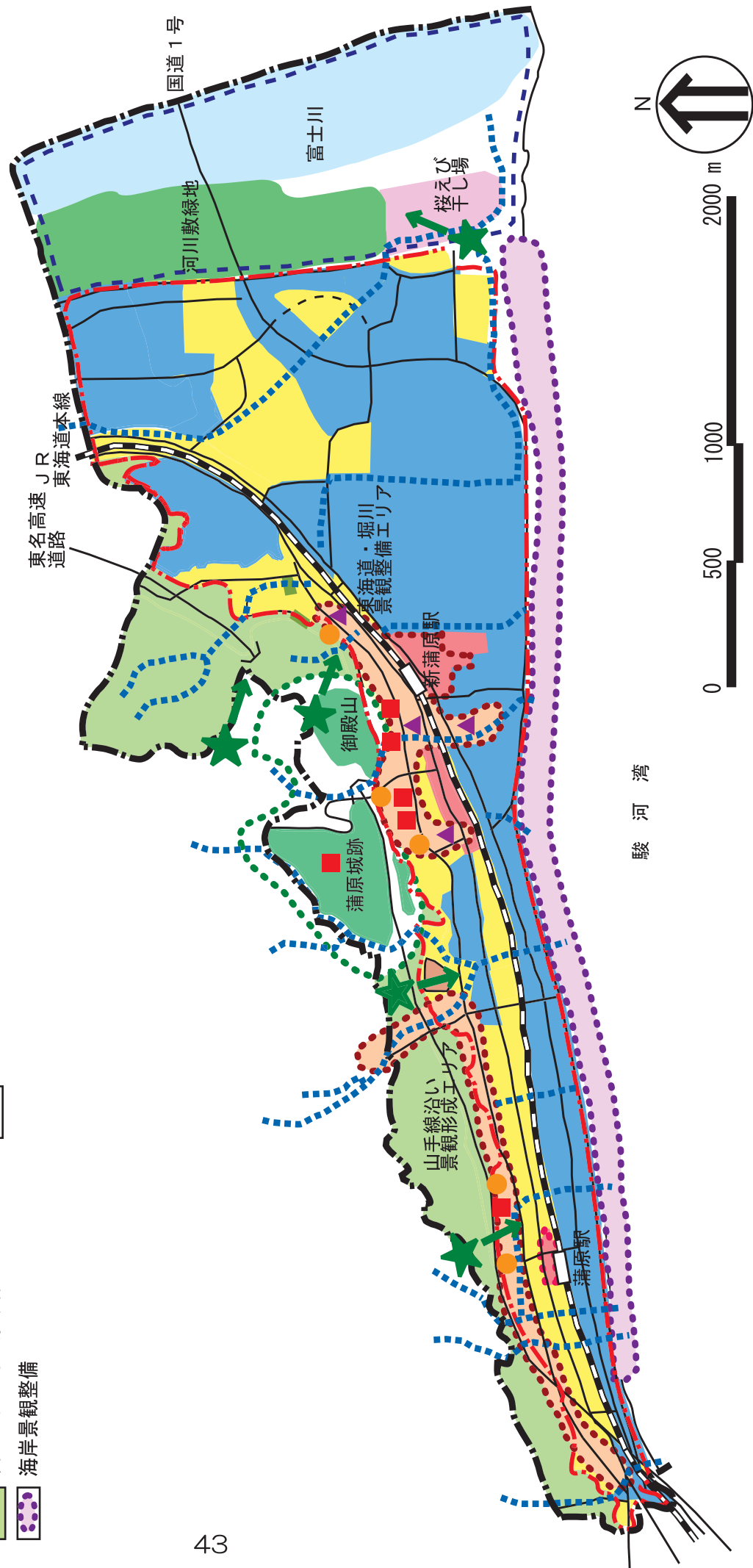
区分	整備方針
水辺景観整備	・市街地内を流れる小池川をはじめとする河川は、市街地にうるおいを与えるよう適所に親水性を図ります。
農地、林地等の景観保全	・市街地の生活環境を守るために、市街地に近接する農地及び林地の景観保全を図ります。
海岸景観保全	・国土交通省に働きかけ、海岸一帯の砂浜回復の促進に努めます。

景観形成の誘導と啓発

区分	整備方針
景観誘導指針の作成と助成金制度の創設	・蒲原宿の歴史的まちなみを保存していくために、建造物などの建て替えや改修等について、条例の制定を行い、住民により景観誘導指針等のルール作りを行い、その指針に基づいた建て替え改修等についての助成金制度の創設に努めます。
優れた景観保全に対する啓発	・優れた景観に貢献していると認められる建造物、看板、庭園などを広報紙等に紹介し、景観の重要性の啓発に努めます。

景観形成方針図

- | | | | |
|---|---------------|---|---------|
|  | 住宅地の景観形成 |  | 眺望ポイント |
|  | 商業務地等の景観形成 |  | 歴史的建造物等 |
|  | 工業地の景観形成 |  | 社寺境内地等 |
|  | 歴史的まちなみ等の景観整備 |  | 記念碑等 |
|  | 蒲原城址及び御殿山景観整備 |  | 主要道路 |
|  | 富士川及び河川敷の景観保全 |  | 構想道路 |
|  | 水辺景観整備 |  | 鉄道 |
|  | 農地・林地等の景観保全 |  | 都市計画区域 |
|  | 海岸景観整備 | | |



7) 都市防災整備計画

(1) 基本的な考え方

災害対策を総合的に推進し、安全で安心して暮らすことができる都市づくりを目指します。

(2) 基本方針

災害に強いまちづくり

災害危険区域等への治山事業、海岸への離岸堤設置、浸水区域における調整池の設置、木造住宅密集市街地等の区画道路の適正配置、建物の耐震化、不燃化の促進などにより、山崩れ、津波、大雨、地震、火災などの災害に対し、町民の生命や財産を守る、災害に強いまちづくりを進めます。

避難路、避難場所の整備・充実

避難路沿いの建物の耐震化、不燃化などを促進すると共に、避難場所の耐震対策を推進し、災害時の安全性の確保に努めます。



(3) 整備方針

















災害に強いまちづくり

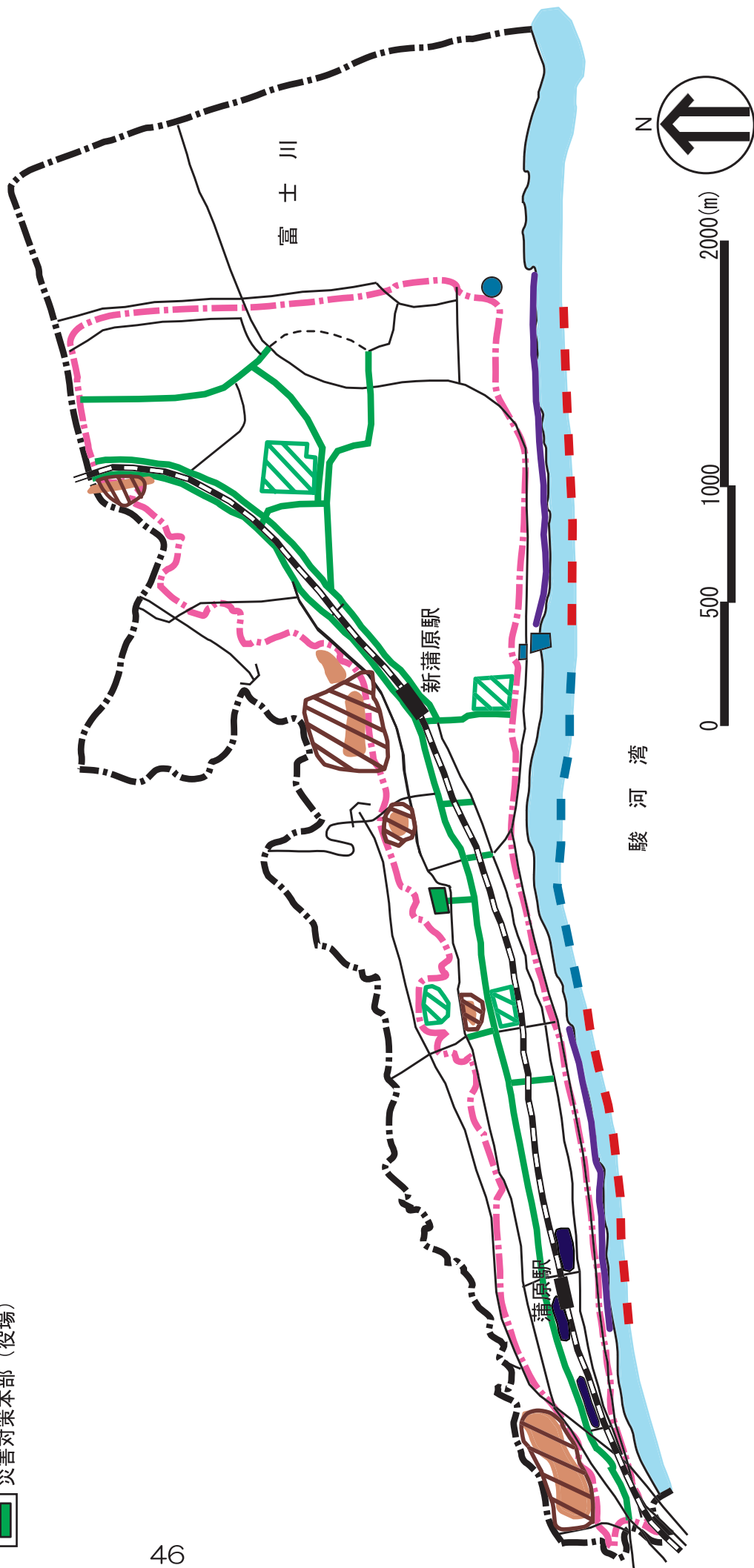
区分	整備方針
災害危険区域等の防災対策の推進	・市街地に近接する山地部の急傾斜地崩壊危険区域や災害危険区域は山崩れや土砂流出等を防ぐため、治山事業や急傾斜地崩壊対策事業などの防災対策を推進します。
有脚式離岸堤等の設置促進	・日軽金の放水路下に高潮対策工を設置すると共に、津波や海岸沿い地域の塩害対策のために、継続して既存の消波堤及び突堤の補強、並びに有脚式離岸堤の設置や養浜事業の促進を国土交通省に要望していきます。
調整池の整備	・大雨の際に、周辺地域の浸水を防ぐために、県立庵原高校東側町有地に、調整池を整備します。
木造住宅密集市街地の区画道路の適正配置	・西部地域の木造住宅が密集し、接道要件により住宅等の建て替えが困難な地区は、必要に応じて、土地区画整理事業や地区計画制度を導入し、区画道路の適正配置を推進し、火災時の消火活動や避難路の安全確保を図ります。
建物の耐震対策・不燃化の促進	・公共施設の耐震化や不燃化を推進すると共に、一般住宅の耐震対策を促進します。

避難路、避難場所の整備・充実

区分	整備方針
避難路の安全性の確保	・県道富士・由比線をはじめとする避難路の安全確保を図るために、沿道建物の耐震化・不燃化、ブロック塀の生け垣化などを促進します。
避難場所の安全確保	・対策本部となる役場、広域避難地となる小・中学校や文化センターの耐震対策を推進し、災害時の安全性の確保に努めます。

防炎対応方針図

-  急傾斜地危険区域の防災対策促進
-  広域避難地の安全確保
-  災害危険区域の防災対策促進
-  避難路の安全確保
-  調整池の整備
-  主要道路
-  高潮対策工の整備
-  構想道路
-  有脚式離岸堤等（既設）
-  鉄道
-  有脚式離岸堤等（整備要望）
-  想定市街化区域
-  既設消波堤及び突堤の補強
-  並びに養浜事業の促進
-  木造密集市街地等の区画道路の適正配置の推進
-  都市計画区域
-  災害対策本部（役場）



8) 福祉のまちづくり計画

(1) 基本的な考え方

すべての住民に開かれ、参加することのできるまちづくりを目指します。

(2) 基本方針

ユニバーサルデザインによる利用しやすい施設づくり

すべての住民が共に生活するノーマライゼーションの考えに基づき、公的施設や道路、公園、駅・駅前広場、公共交通機関などをユニバーサルデザインによる整備、改善に努めます。

高齢者や障害者が使用しやすい公営住宅の整備

高齢者や障害者などが自立し尊厳を持って社会の重要な一員として暮らしていけるよう、使用しやすい公営住宅の改良及び供給の促進に努めます。

(3) 整備方針

ユニバーサルデザインによる利用しやすい施設づくり

区分	整備方針
公的施設の整備・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・不特定多数の人が利用する文化センター、高齢者福祉施設などは、ハートビル法に基づき、駐車場や建物の整備を進めます。
歩道及び公園等の整備・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路等の歩道は、「静岡県福祉のまちづくり条例」などに基づき、適所にゆとりのある幅員の確保、段差の解消、視覚障害者誘導用ブロックの敷設などの整備、改善に努めます。 ・公園等については、園路の段差解消、スロープ・手摺の設置などの整備、改善に努めます。
駅・駅前広場及び公共交通機関の整備・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 新蒲原駅及び蒲原駅の駅舎・駅前広場は「交通バリアフリー法」に準じ、JR との協議を行い、ゆとりある歩道やスロープ、音響信号機の設置、障害者用トイレの設置等の整備、改善に努めます。 ・新蒲原駅については、エレベーターの設置に努めます。 ・バスについては、バス会社との協議を行い、高齢者や障害者でも乗降が容易なように低床バスやノンステップバスの導入などの整備、改善を要望します。

高齢者や障害者が使用しやすい公営住宅の整備

区分	整備方針
高齢者や障害者が使用しやすい町営住宅の改良及び供給	<ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅の新設又は改良にあたっては、高齢者や障害者が使用しやすいもの（手摺の設置や段差解消等）とし、入居に際しては、高齢者や障害者世帯を優先させます。